

誰のために、何を叶えるか。



福祉・介護のための実践型広報スクール1期生の皆さん



左から事務局の柴崎さん・大村さん・堀さん・松藤さん

広報を作る楽しさ・やりがい・手ごたえをすべての人に。 三田市で福祉介護の分野で人手不足の課題に悩む事業所を応援するみちかいご×ユナイテッド・トゥモロー×三田市社会福祉協議会による全10回の広報スクール。そして講座+個別相談3回がセットになった神戸市主催『成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー』。広報は、一方的なお知らせではなく、誰のために何を叶えるかをメッセージすることが大切です。(ユナイテッド・トゥモロー尾関栄二)

1回きりの講座じゃ、身につかない。 そんな思いから毎月1回のスクールを10回実施。講義+今までに作ったチラシなどを改善するアドバイスタイム+グループでのワークショップ+各グループによる発表(プレゼンテーション)。広告作りのノウハウを実制作に落とし込み、その意図を伝える。実践的な取り組みを繰り返すことで真の広報力が身についてゆきます。

安心して年をとれる街に。 高齢化で利用者は増える一方、でも人手が足りない。福祉・介護分野において、『人材確保・魅力伝達』の手段として「広報の必要性」の認識はあっても“時間が取れない”“効果・反応がない”“独学と手探りだから広報に自信が持てない”…そのような課題解決に向けて、市内法人有志で福祉・介護のしごと魅力アップを目指す「みちかいご(身近+介護)」と広報に精通したユナイテッド・トゥモローと三田市社会福祉協議会が協働し、地域の介護事業所やボランティア団体、市民グループなどをつなげる実践型広報スクールに取り組んでいます。

これまでは『**広報＝デザインの工夫や魅せ方**』と**思って**いましたが、まずは自分自身が法人や事業所の良さや強みを理解すること、その上で、何を伝えたいか、誰に届けたいかを明確にすることが大切だと受講によって考えが変わりました。普段の業務においても、事業所の良さに目を向けられるようになったことは、受講前からの大きな変化かなと思います。

正直、上司に『**こういうのがあるんだけど行ってみない?**』と言われた時は。あまりの期間の長さにおどろいたのですが、いざ受講し始めると先生の話が楽しく、あっという間に今日を迎えました。広報という域をこえて『**人に自分の思いや熱意を伝えるとは?**』ということを改めて考えさせられ、仕事でもプライベートでも活用できるスキルを身につけられたような気がします。

自分の仕事に生かせることが多かった為、様々なことを取り入れることができました。生活の中でも目に入る広告やチラシ見て『**どういう意図で作られているのか**』、講義の内容を思い出し、レイアウトなど参考になる点を探したり考えるようになりました。

自分が発信したいことと、他の人が知りたいことは違う。自分たちの活動内容を客観的に考える切っ掛けになりました。見る人を意識した告知やアピールの仕方を考えて発信するようになりました。

駅や街中にあるポスターやチラシによく目が留まるようになりました笑。『これは活かせるな』と思うこともあれば『**ここはもっとこうしたらいいのに・・・!**』などと先生目線で思ってしまうことも・・・笑
『人に何かを伝える』ということに真剣に向き合うことのできる貴重な時間であったと思います。

広報について最初はあまりわからなかったけど、受講して広報の意味や大切さがとてもよくわかりました。『**誰のために、何のために、何を伝えるのか、叶えるのか**』をしっかり考えて作らないと、誰にも刺さらないものになって、効果を期待できなくなるんだなと思いました。難しいけど、他の方や先生のアイデアがいつもすごくて、とても参考になりました!!!

広報は人生とおなじだと思った!!
『何のために、誰のために、何を叶えるか』ですね。利用者の立場なので、日々接していない福祉・介護関係者の方々と同じ空間にすることができて、介護をより良くしようと勉強されている姿が見れて嬉しかったです。ありがとうございました。

広告はこんなものという固定概念が崩れてすっきりしました。もっとリラックスして生きていけばいいなーと気づけたと思います。

何のために、誰のために、何を叶えるか。を園・イベント・チラシ・SNSの内容を考えられるようになりました。**軸を作ることができるようになった**と思います。広報ということ自体、雲をつかむような感覚でしたが、具体的に落とし込めるようになってきたかなー。



※卒業された1期生の声を一部抜粋。2025年1月～10月毎月1回三田市まちづくり協働センター会議室にて開催。

■学びをカタチに、みぢかいご賞コンテスト受賞作品。 ※エントリー作品であり実際の広告ではありません。



【みぢかいご賞】
グループホームひだまりの家



【審査員特別賞】
特別養護老人ホーム三田楽寿荘



【審査員特別賞】
男性介護者の会ぼちぼち野郎



【審査員特別賞】
特別養護老人ホーム オーキッド



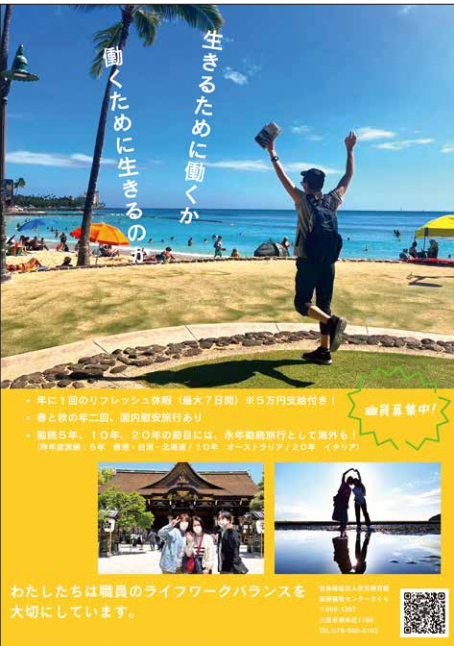
【インパクト賞】
三田市国際交流協会



【インパクト賞】
介護老人保健施設 愛



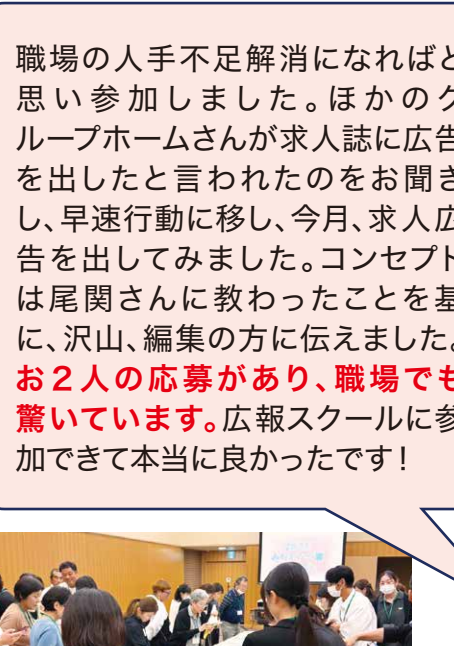
【ユニーク賞】
社会福祉法人三翠会



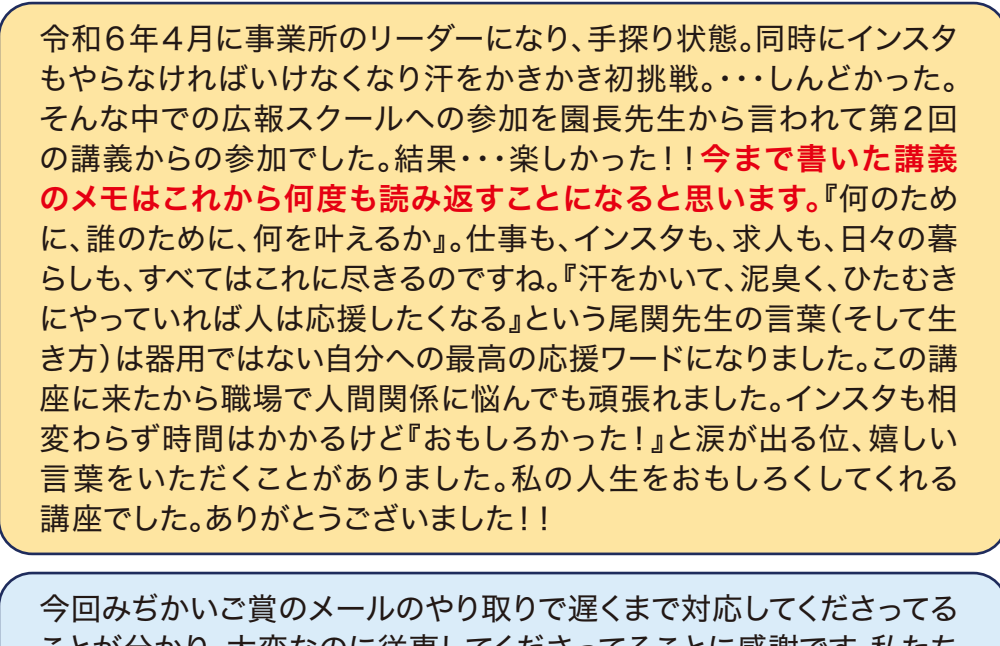
【ユニーク賞】
医療福祉センターさくら



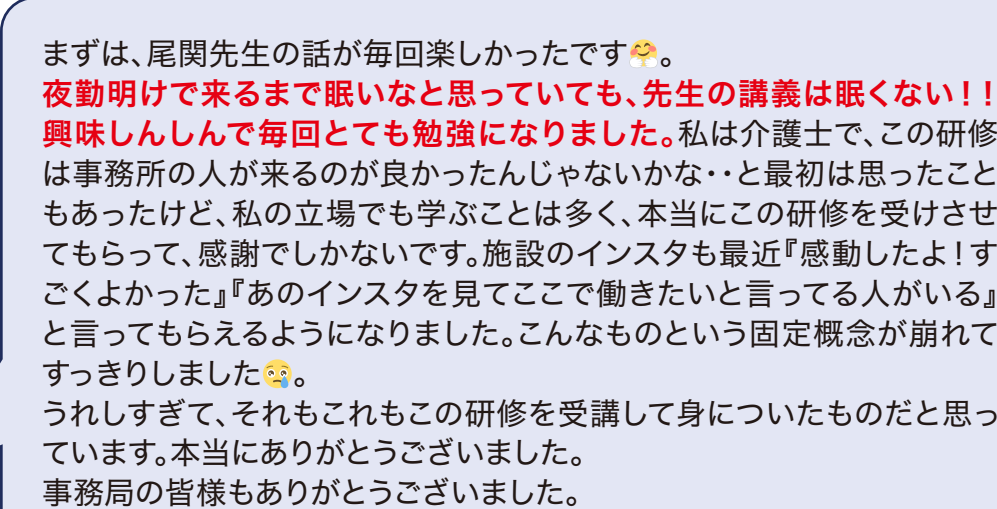
【ユニーク賞】
障害者支援施設 三田こぶしの園



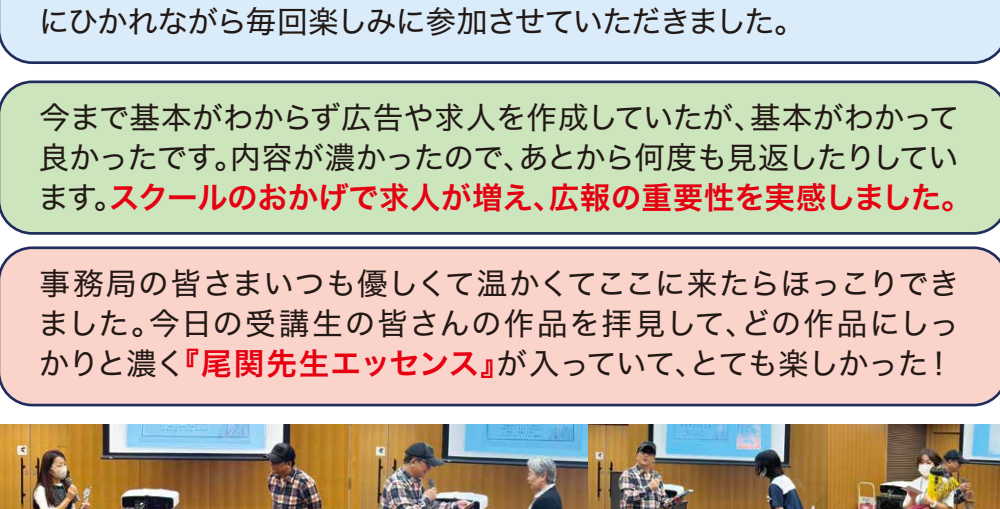
【ユニーク賞】
障害者支援施設 三田こぶしの園



【ユニーク賞】
障害者支援施設 三田こぶしの園



応募総数24点、審査員泣かせの力作ぞろいでした！



応募総数24点、審査員泣かせの力作ぞろいでした！

縁の下、縁むすび。

神戸のNPOなど
受講団体の
皆さん(一部)

縁の下から、人の縁をつなぐ広報力を。『成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー(神戸市主催)』において、神戸市内で活動する地域団体の皆さんに、広報の考え方・戦略・表現のスキルを身につける講義と具体的なアイデアをカタチにする個別相談の上、チラシなどを自作するまでを伴走支援させていただきました。※本セミナーで自作された広報物のごく一部です。↓



どうすれば
いいですか？

おなかすいた...

飼う？
飼い主を探す？
保健所？
エサやりする？
近所迷惑？
不衛生？
去勢手術？...

あなたの選択をお聞かせください



しゃべり・学び・笑う

全国の仲間が
オンライン学級会で
転入生のあなたを待っています！

NPO法人日本シニアデジタルサポート協会



絵本と
ジャズを
愛する人へ。

二人でお茶を
ティク・ファイブ
我が心のジョージア
シング・シング・シング ...他

あわただしい日常を忘れて
上質な時間を
いっしょに過ごしませんか？

絵本 meet JAZZ 2026
4月26日(土) 第1部 11:00～ 第2部 14:30～
会場：垂水五色山西洋館

絵本作家による読み聞かせや作品にインスパイアされたジャズピアニストの即興演奏など
五感で感じる体験を絵本を愛する皆さんに。



料金：大人3500円、子ども1000円
参加費は、当日会場にて現金でお支払いください。
お問い合わせ：EhonParadiseinKobe実行委員会 ehonparadiseinkobe@gmail.com

JAZZピアニスト
宮川真由美

神戸歴史遺産認定
垂水五色山西洋館

Ehon Paradise
in KOBE



広報とは、
広く報告する
ことではなく、
広く報いること。

好評につき2026年6月 福祉・介護のための実践型広報スクール第2期実施決定！

求人や利用者募集など目的を見据えたキャッチコピー・コンセプト・ビジュアル・撮影・ブランディング・プレゼンテーションなど幅広く実践的な広報を学べます。

センスより場数、練習より実践。 2026年1月 ステップアップコース参加者受付中

広報物を、自分で作る広報スクール。勤める事業所や所属するボランティア団体などの求人チラシ・ホームページ・広報誌・動画・SNSなどを講師といっしょに作る上級コースです。

■お問合せ・お申込み：メール:sandakaigo1007@gmail.com 電話:079-559-5941
■共催/みづかいこ ユナイテッド・トゥモロー ■後援/三田市社会福祉協議会

●記事掲載は無料。気軽にお申し込みください。

掲載申し込みならびに協賛申し込み、広告掲載については右記UT事務局までお問い合わせいただくか
UTホームページよりお申し込みください。 <http://www.united-tomorrow.com/>

■ご意見・ご感想・お問い合わせ・掲載のお申し込みは

UT事務局 編集長 尾関栄二
E-mail: ut_oww@ybb.ne.jp hp:090-9162-1845

ユナイテッド・トゥモロー 第27号 (2026年1月1日 発行)

発行/株式会社ユナイテッド・トゥモロー
〒669-1337 兵庫県三田市学園3-2 1-514
TEL&FAX: 079-565-8727

◎掲載の写真・イラスト・記事等の無断転載、および複写を禁じます。

○仲間募集中!! ○情報発信でお悩みのNPOのご相談受付中!
○セミナー依頼受付中! あなたの活動を広める情報発信力を身につけませんか?
○講座依頼受付中(全国)

UT